

商工観光部

令和3年度重点目標

- 1 ウィズコロナ・アフターコロナにおける事業者支援
- 2 地方創生に向けた地域産業の活性化と先端技術の導入促進
- 3 地域雇用情勢に応じた施策の展開と就業支援
- 4 上田の卓越性を生かす企業誘致・留置の推進と創業支援
- 5 「観光地・上田」の魅力発信と誘客促進
- 6 中心市街地の活性化と賑わいと活力ある商業の推進

令和3年度 重点目標管理シート

重点目標	ウィズコロナ・アフターコロナにおける事業者支援		部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立					
現況・課題	・上田市の経済・雇用を担う中小企業を取り巻く経営環境は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響等により不安定な状態にあり、さらには働き方改革や多様な人材を活用するダイバーシティ、AIやIoT等が進展する中で、難しい経営の舵取りを迫られています。 ・今後は少子高齢化による生産年齢人口の減少、若年者の都市部への流出等、後継者不足や人材不足がより一層深刻となり、事業自体の継続が困難な状況に陥る危険性もはらんでいます。 ・このような厳しい経営環境を乗り越え、将来にわたる持続的な成長の道をつくるためには、人材の確保・育成のほか、生産性の向上や新製品・技術・サービスなどの開発等が求められ、そのためのイノベーションが重要な経営課題となってきますが、中小企業の多くは所有する経営資源が不足しており、新たな事業展開が困難な場合が多い現状があります。					
目的・効果	・まずは、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける市内事業者の事業継続の下支えと需要喚起、誘客促進のために施策を推進します。 ・第4次産業革命（AI・IoT関連）、働き方改革、生産性革命といった新たな潮流や、人材不足等の課題に対応する効果的な施策を推進していきます。 ・「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進段階にあって、展開している施策等の充実、深化を図っていきます。 ・コロナ禍や台風など、様々な社会情勢や自然災害等による影響を受けても、安定的に事業継続が行えるよう施策を推進していきます。		該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○関係機関と連携した中小企業支援 (1) コロナ禍における市独自の事業者支援 (2) 保証協会・金融機関と連携した資金繰り支援 (3) 国等助成制度を活用した設備投資・販路開拓支援 (4) 商工団体と連携した消費需要喚起	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) 事業継続等につながる支援の実施：随時 (2) 融資実行：随時、経営相談窓口設置：随時 (3) 各種補助金申請支援：随時 (4) 収束後の消費喚起：随時	(1) 飲食店等事業継続緊急支援金（4-5月）：331件支給 (2) 窓口、電話等で随時相談、申込受付 県制度：149件、市制度：60件 (3) 事業再構築補助金採択件数：27件 (4) もっテイク上田：164件（9月末時点掲載） 買ってミール上田：46件（9月末時点掲載） 第3弾 消費喚起応援事業：12月開催に向け準備中		(1) 飲食店等事業継続緊急支援金：331件（R3. 4-5月） 飲食店等緊急支援事業交付金：254件（R3. 9-11月） 売上減少事業者一斉支援交付金：実施中（R4. 2月～） (2) 融資実行件数：387件 （市制度：120件、県制度：267件、セーフティネット認定260件）、相談窓口：随時 (3) 事業再構築補助金採択件数：65件 (4) もっテイク上田：162件（3月末） 買ってミール上田：46件 第3弾消費喚起応援事業TicketQR：840店舗参加、経済効果約15億円
②	○関係機関と連携した雇用施策の推進 (1) 雇用施策の周知・相談 (2) 雇用情勢の把握及び各種施策の検討・立案	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 雇用施策の周知・相談：随時 (2) 雇用情勢の把握、各種施策の検討立案：随時	(1) 雇用調整助成金の申請手続方法をHPで公開 雇用調整助成金申請支援補助金支給件数：34事業所65件 (2) ハローワーク上田との情報交換 6回 上田地区雇用対策推進協議会への参加 1回		(1) 雇用調整助成金の申請支援 雇調金申請支援補助金支給件数：36事業所68件 申請手続方法をHPで公開 (2) ハローワーク上田との情報交換 12回 上田地区雇用対策推進協議会への参加 1回
③	○関係機関と連携した観光施策の推進 (1) 観光関連事業者の事業継続支援 (2) 観光関連団体と連携した需要喚起と誘客促進	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 観光関連事業者の事業継続につながる支援事業の実施：随時 (2) 観光需要喚起・誘客促進事業の実施：随時	(1) 旅館・ホテル業事業者宿泊予約キャンセル等支援事業（135件：9月末現在） (2) 市内観光協会誘客促進事業費補助金（8件：9月末現在）		(1) 旅館・ホテル業事業者宿泊予約キャンセル等支援事業（136件：3月末現在） (2) 市内観光協会誘客促進事業費補助金（18件：3月末現在）
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

令和3年度 重点目標管理シート

重点目標	地方創生に向けた地域産業の活性化と先端技術の導入促進		部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・経済、雇用を牽引する基幹産業である製造業の技術力の集積とARECを拠点とする産学官連携の取組みが特徴であり強みでもあることから、ARECを中核とする各種産業支援機関との連携により、次世代に向けた工業活性化の取組を進め、しごとづくり及び雇用の確保を図ることが今後必要です。 ・経済のグローバル化に伴い、大手メーカーの海外現地生産化等が進んでいる中、下請け企業は生き残りをかけ、販路拡大や研究開発型企業へと展開を図る必要があるため、幅広く、きめ細かな企業支援が求められています。 ・地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組（地域未来投資）が活発になることで、地域経済における稼ぐ力の好循環の実現が期待されています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携による自治体の枠を越えた多種多様な企業間の連携を推進することで、地域経済の足腰強化と、既存産業の維持確保のみならず、次世代へとつながる新たな産業創出の支援、並びに雇用の創出を図ります。 ・生産現場等における技術や経験の継承及び生産効率の向上など体質強化に対して、AI・IoT等の導入に取り組む企業を支援します。 ・販路開拓や農商工連携による6次産業化などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。 ・地域経済や雇用に関する関連機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを推進することで伴走型の商工業支援を図ります。 ・地域経済牽引事業計画に基づく設備投資や生産性向上特別措置法の導入促進基本計画に基づく設備投資による固定資産税減免などの優遇制度や国の研究開発補助金などの活用促進を図ります。 		該当するSDGsの目標		  	
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
① ○東信州広域連携による次世代産業創出支援 (1) 次世代ビジネスモデルの推進 (2) 次世代人材の確保・育成	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 新規プロジェクト:1件 企業マッチング:4回 技術講演会等:10回 (2) 企業の人材確保事業:6回 企業の人材育成事業:15回	(1) 新規プロジェクト:1件(昆虫食) 企業マッチング:2回(産学交流ラウンジ) 技術講演会等:5回(AREC技術分野別講演会) (2) 企業の人材確保事業:7回(延べ11日間) 企業の人材育成事業:5回(延べ16日間)		(1) 新規プロジェクト:2件(昆虫食、スモールスマート農業) 企業マッチング:5回(産学交流ラウンジ、東信州次世代産業ビジネスフォーラム) 技術講演会等:9回(AREC技術分野別講演会) (2) 企業の人材確保事業:12回(延べ21日間) 企業の人材育成事業:9回(延べ22日間)	
② ○AI・IoT等を活用した産業振興 (1) 製造現場等へのIoT導入支援 (2) 市技術研修センターを活用したIT技術者育成	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) セミナー開催:2回、IoT補助金2件、研究会:4回 (2) セミナー開催10回(対象者15人(オンラインを含む))	(1) セミナー開催:2回、IoT補助金:1件 (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施方法を見直し、下半期に開催予定		(1) セミナー開催:3回、研修会:8回、IoT補助金:1件 (2) ものづくり改善人材育成研修の開催 参加者:9社17人、座学研修:2回、 報告会:2回、改善実践:2ヶ月間	
③ ○意欲ある中小企業へのきめ細やかな経営支援と実態把握 (1) 商工団体・産業支援機関等と連携した販路開拓、展示会出展支援 (2) 商工会議所・金融機関との連携による企業の生産性及び経営力向上支援 (3) 経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 展示会共同出展:2回 (2) キャラバン隊による企業訪問:随時 (3) 経営実態調査:年1回、企業訪問:300件	(1) 展示会出展:10月、2月 2回予定 (2) キャラバン隊による企業訪問:10社 (3) 経営実態調査:8月実施 企業訪問:100件		(1) 展示会出展:2回(12月、2月) (2) キャラバン隊による企業訪問:15社 (3) 経営実態調査実施(1回:7～8月、167社回答) 企業訪問:630件	
④ ○商工団体との連携及び民間活力を導入した事業承継・M&Aの推進 (1) 事業承継・M&Aの認知度向上 (2) 専門家による個別支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) セミナーの開催:5回 (2) 専門家派遣:3社・10回	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から上半期は未実施、下半期実施予定 (2) 専門家派遣:5社・5回		(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小開催(2回) (2) 専門家派遣:7社・12回	


	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
⑤	○信州上田のブランディング促進 (1) 魅力ある新製品開発、体験型コト消費等 新サービス開発、農商工連携等支援 (2) 上田ブランドプロモーションの展開 (3) 市内温泉街の新規出店等魅力創出支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 補助金支援件数:5件 (2) テストマーケティングの実施、 銀座NAGANO、東日本連携 センター等の活用:随時 (3) 補助金支援件数:3件	(1) 補助金支援件数:5件 (2) 銀座NAGANO:1件 (3) 補助金支援件数:2件	(1) 補助金支援件数:6件 (2) 銀座NAGANO:1件 (3) 補助金支援件数:3件
⑥	○地域未来投資法等を活用した企業の設備投資支援 (1) 先端設備導入計画策定、地域未来牽引事業計画 策定支援	(1) 4月～3月	(1) 先端設備導入計画策定支援及び 地域未来牽引事業計画 策定支援件数:30件	(1) 先端設備等導入計画の認定:40件 地域未来牽引事業計画の支援:1件	(1) 先端設備等導入計画の認定:85件 地域未来牽引事業計画の支援:3件
特 記 事 項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和3年度 重点目標管理シート

重点目標	地域雇用情勢に応じた施策の展開と就業支援		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと就業支援		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により地域の雇用情勢は先行きの不透明感があることから、ハローワークや商工会議所など関係機関と連携しながら情勢を分析し、雇用の維持・安定に向けてスピード感を持って、必要な支援策を講じていく必要があります。 一方、潜在的な労働力不足は解消されておらず、現在も業種によっては人材不足に苦慮している事業所も多く、求職者と人材不足業種とのマッチング、学卒者等の若者、高度専門人材の地域企業への就労支援施策が引き続き必要です。また、テレワークなど新たな働き方が推進されている中、インフラなどの環境整備のみならず、企業による人材育成、働きがい創出などへの支援も必要です。 人口及び労働力人口減少対策（地方創生）が喫緊の課題である中、UIJターンによる移住就職促進、自立を目指す若者、女性や就職氷河期世代など潜在的な労働力の掘り起こしを行い地域企業の担い手を確保していく必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 上田市版ハローワーク（就労サポートセンター）における労働・就職相談や求職者支援、雇用調整助成金の申請支援、関係機関との連携を通じた施策を講じて、コロナ禍における雇用の維持・安定につなげます。 民間事業者と連携した「UIJターンと地域若者等定住就職支援事業」の実施により、首都圏等からの移住希望者に対する移住相談と市内企業との就職マッチングを行うとともに、様々な事情により職に就くことが困難な若者等を安定した正規雇用へ結びつけ市内定住を促します。 上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒者に対する合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供するとともに、SNSを活用し地域企業の情報を届け一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。 		該当するSDGsの目標	  		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
① ○就労サポートセンター(上田市版ハローワーク)事業の推進 (1)各種助成金申請支援事業の充実 (2)就職・労働相談及び無料職業紹介の実施 (3)地域雇用情勢の把握及び情報提供 (4)求職者スキルアップと企業の人材育成支援 (5)若者サポートステーション・シナノと連携した若年者自立・就職支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月 (5)4月～3月	(1)相談及び申請支援件数:36件 (2)相談及び無料職業紹介:200件 (3)事業所訪問:200件 (4)再就職支援セミナー実施 ・パソコンセミナー:24回 ・仕事の探し方講座:12回 ・定年退職前後の手続きセミナー:5回 (5)自立及び就職者数:25人	(1)相談及び申請支援件数:0件 ※雇用調整助成金等について、新規に申請する事業所の減少に伴うと考えられる (2)相談及び無料職業紹介:96件 (3)事業所訪問:208件 (4)再就職支援セミナーを実施 ・パソコンセミナー10回 ・仕事の探し方講座6回 ・定年退職前後の手続きセミナー1回 (5)自立及び就職者数:10人		(1)相談及び申請支援件数:5件 ※雇用調整助成金等について、新規に申請する事業所の減少に伴うと考えられる (2)相談及び無料職業紹介:169件 (3)事業所訪問:400件 (4)再就職支援セミナーを実施 ・パソコンセミナー25回 ・仕事の探し方講座12回 ・定年退職前後の手続きセミナー5回 中小企業の若手社員向け研修を実施:1回 (5)自立及び就職者数:23人	
② ○UIJターン就職、移住定住の促進 (1)移住交流推進課、民間人材派遣会社と連携したUIJターン就職支援 (2)UIJターン就業・創業移住支援事業の利用促進	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1)相談者数:120人 地域企業への就職者数:20人 (2)要件緩和変更の周知 制度利用者数:5人	(1)相談者数:22人、地域企業への就職者数:5人 (2)HP等により制度の周知を実施 制度利用者数:2人		(1)相談者数:56人、地域企業への就職者数:12人 (2)HP等により制度の周知を実施 制度利用者数:7人	
③ ○若年者の地元企業就職促進 (1)学生と地域企業とのマッチング強化 (2)民間人材派遣会社と連携した若年者就業支援 (3)学生等地域企業就職促進奨学金支援事業の普及	(1)4月～3月 (2)9月～3月 (3)4月～3月	(1)就活フェア等開催:4回 就職支援セミナー開催:15回 インターンシップ受入:300人 (2)地域企業への就職:20人 (3)制度導入企業数:2社 対象者:4人	(1)就活フェア等開催:2回 就職支援セミナー開催:2回 インターンシップ受入:119人 (大学生(オンライン開催):33人、高校生:86人) (2)10月以降に支援開始予定 (3)経済団体向けの周知・広報:6回 学校向けの周知・広報:2回		(1)就活フェア等開催:4回 就職支援セミナー開催:4回 インターンシップ受入:229人 (大学生(オンライン開催):33人、高校生:196人) (2)参加受講者数:19人 就職決定者数:14人 (3)経済団体向けの周知・広報:6回 学校向けの周知・広報:2回	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
④	○産学官連携によるキャリア教育の推進 (1) 高校と地域企業による連携事業の構築 (2) 義務教育期におけるキャリア教育の充実	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 構築及び実施回数:3回 (2) ジョブキッズしんしゅう事業参画 親子会社見学会:5日間 教員向け企業見学会:2回 ものづくり教室の開催:2回	(1) 上田東高校におけるキャリア教育支援 参加事業所募集支援:3回 (2) ジョブキッズしんしゅう開催準備 参加事業所:5事業所 中学校へのキャリア教育の実施支援:3校	(1) 上田東高校におけるキャリア教育支援 参加事業所募集支援:3回 協力企業数:31社 参加生徒数:278人 (2) ジョブキッズしんしゅう参加 参加事業所:5事業所 中学校へのキャリア教育の実施支援:3校 ものづくり教室:1回(10人参加)
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和3年度 重点目標管理シート





重点目標	上田の卓越性を生かす企業誘致・留置の推進と創業支援			部局名	商工観光部	優先順位	4位	
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 起業・創業支援と中小企業の経営力強化		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり				
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生を推進する上では、多様な人材の活躍の場作りと、雇用機会の拡大を図る施策を推進していくが重要となります。 ・そのためには、若者や女性などが起業しやすい環境を整えることや、地域特性を活かした様々な産業が集積し成長する必要があります。 ・地域労働力の担い手として女性の社会進出も喫緊の課題であります。 ・インターネット社会において、働き方の多様化に対応するため、コロナ禍におけるテレワーク環境の整備とそれを活用したワーケーションの推進も重要となります。 							
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援や首都圏等からの創業者の誘致を行い、市内企業と創業者とのコミュニティ形成による異業種交流を推進し、新たな商品・産業の創出を目指します。 ・女性のための創業スクールや創業後のフォローアップ等を行い、事業の立ち上げの支援を行います。 ・工場誘致など雇用の創出や税収増による市内経済の活性化のみならず、市内製造業の高度化に寄与する研究機関や本社機能などの誘致を推進することで、市内企業活動の活性化を図ります。 ・コロナ禍で需要が高まっているテレワーク環境の整備により、域内外の企業及び個人事業主の活躍の場を提供することで市内産業の活性化を図ります。 			該当するSDGsの目標				
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	<ul style="list-style-type: none"> ○創業プラットフォームを中心とした創業支援の充実 (1) 商工会議所・ARECとの連携による伴走型創業支援 (2) 創業促進支援事業補助金による支援 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 創業プラットフォームでの相談件数:300件 (2) 支援件数:10件 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 相談人数：97人、延相談件数：175件 (2) 家賃支援：5件、改修費支援：1件 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 相談人数：182人、延相談件数：391件 (2) 家賃支援：9件、改修費支援：4件 クラウドファンディング手数料支援：1件 	
②	<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致・留置の推進 (1) 第二期箱置工業団地造成の推進 (2) インターチェンジ周辺等の用地活用検討 (3) 工場等用地取得事業・工場等設置に対する支援 (4) 宅地建物取引業協会と連携した工場用地等の情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 工事の進捗管理 (令和4年春完成予定) (2) 随時 (3) 支援件数:5件 (4) 市内企業訪問:15社 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年4月完成予定で進行中 (2) 農振除外、農地転用に配慮した法令研究 (3) 用地取得支援：5件、工場等設置支援：3件 (4) 情報提供：6社 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年3月完成 (2) 農振除外、農地転用等について関係課と検討 (3) 用地取得支援：7件、工場等設置支援：5件 (4) 情報提供：10社 	
③	<ul style="list-style-type: none"> ○起業家、サテライトオフィス等の誘致 (1) テレワーク拠点の整備 (2) サテライトオフィス、シェアオフィス、コワーキングスペース等の誘致 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 拠点整備（令和3年度内完了） (2) 支援件数:2件 	<ul style="list-style-type: none"> (1) コワーキングスペースの整備：設計完了、入札準備中 利用者：2,545人（524件） ※コワーキングスペース完成前につき既存スペースの利用 (2) 改修費支援：1件 		<ul style="list-style-type: none"> (1) コワーキングスペース：改修工事中 ※資材調達遅延等により工期延長 利用者：4,632人（933件） ※コワーキングスペース完成前につき既存スペースの利用 (2) 改修費支援：3件 家賃支援：2件 	
④								
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題				

令和3年度 重点目標管理シート

重点目標	「観光地・上田」の魅力発信と誘客促進		部局名	商工観光部	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり エ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだ観光需要の回復に向け、国や県による大規模な需要喚起策が実施されているが、一時的な回復はみせるものの、依然としてコロナの動向により市内への観光客の入込が大きく左右され、市内観光産業にあっては雇用の維持、事業継続が困難な状況が続いています。 インバウンド需要の回復には数年は要すものと想定されているが、回復後を見据え、海外における当市の認知度向上と長野市・松本市・軽井沢町などインバウンド先進地に訪れる外国人観光客を市内への取り込むための対策強化が必要となっています。 観光振興の牽引役である「一般社団法人 信州上田観光協会」と連携した事業推進が重要となっています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にあっても、継続して観光客を呼び込むための誘客促進事業に取り組み、市内観光需要の早期回復に繋がります。 現状では、訪日外国人観光客の入込は期待できないが、今後を見据えたインバウンド施策を展開することで、需要回復後の更なる誘客促進に繋がります。 行政と民間の役割を明確化の中で、官民連携で「稼げる観光地づくり」を推進します。 		該当するSDGsの目標	   		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
① ○観光資源の活用推進 (1) 日本遺産を活用した観光振興 (2) 官民連携による誘客イベントの開催 (3) 観光施設の利活用に向けた検討	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 案内看板の整備：15基 ・多言語パンフレット制作：3種類（日本語・英語・中国語） (2) 誘客イベント開催：4回 (3) 庁内関係課会議開催：3回	(1) 案内看板の整備：設置場所等について関係各所と調整、後期設置予定 ・多言語パンフレット制作：後期制作予定 (2) 春季の上田城千本桜まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小して開催 (3) 「塩田の館」の利活用についての庁内関係課会議：2回（7/13・8/3）		(1) 案内看板の整備：10基（信濃国分寺駅、上田城跡公園道と川の駅、山王山公園、別所線沿線3駅ほか3箇所） 多言語パンフレット制作：3種類（25,000部） (2) 上田城千本桜まつり（4/1～4/11）、上田城紅葉まつり（11/6・7）、上田氷灯ろうまつり（2/9～2/13）、上田真田まつりは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止 (3) 「塩田の館」の利活用についての庁内関係課会議：3回（7/13・8/3・1/6）	
② ○広域連携事業の推進 (1) 東日本連携を活用した誘客促進 (2) トライアングル連携（長野市、松本市、上田市）による誘客促進 (3) 真田街道推進機構他関係自治体及び各種団体と連携した誘客促進	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 誘客イベント開催：2回 (2) 上田-松本直行バス利用者：3,000人 ・「ウルトラインターリング」検討会議：3回 (3) 誘客イベント開催：2回	(1) オリ・パラに合わせて開催予定であった日本酒イベント等は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止 (2) 上田-松本直行バス利用者：1,849人（9月末現在） ・「ウルトラインターリング」検討会議：1回（9/28） (3) 誘客イベント開催：後期開催予定		(1) オリ・パラに合わせて開催予定であった日本酒イベント等は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止 (2) 上田-松本直行バス利用者：3,336人 「ウルトラインターリング」検討会議：3回（9/28・12/28・2/10） (3) 姉妹都市物産展（上田市）に出展（10/2・3） お城EXPO2021（パシフィコ横浜）に出展（12/18・19）	
③ ○インバウンドの促進 (1) （一社）信州上田観光協会と連携したインバウンド施策の推進 (2) 訪日外国人旅行者の受入態勢強化の検討	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 外国人向けPR動画制作：1本 ・オンラインプロモーション：2種類 (2) 検討会議開催：4回	(1) 外国人向けPR動画制作：7-8月撮影、10月完成予定（PR動画「Nostalgic castle town, Ueda」） ・オンラインプロモーション：後期開催予定 (2) 観光事業者との検討会議：3回（5/18・6/9・9/29）		(1) 外国人向けPR動画制作2本：7-8月撮影、10月完成、11月公開（PR動画「Nostalgic castle town, Ueda」等） オンラインプロモーション：Youtube 242,877回、SNS 1,139,215回 (2) 観光事業者との検討会議：4回（5/18・6/9・9/29・3/23）	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
	<p>○「稼げる観光地づくり」の推進</p> <p>(1) 地域活性化起業人の活用</p> <p>(2) (一社) 信州上田観光協会と連携した観光消費額の増加に向けた取り組み</p> <p>(3) 観光マスタープラン策定準備</p>	<p>(1) 4月～3月</p> <p>(2) 4月～3月</p> <p>(3) 4月～3月</p>	<p>(1) 誘客促進フェスティバル支援：随時</p> <p>・土産品開発支援：随時</p> <p>(2) 着地型（体験型）旅行商品造成：2種類</p> <p>(3) 庁内検討会議：5回</p>	<p>(1) 誘客促進フェスティバル支援：首都圏向け観光誘客キャンペーン「期間限定アンテナショップ」出展支援（10月実施予定）</p> <p>・土産品開発支援：日本遺産商品開発セミナー：2回【参加人数：1回目（7/20）39名、2回目（8/20）29名】</p> <p>(2) 着地型（体験型）旅行商品造成</p> <p>①別所線復活記念日本遺産を巡る塩田平ツアー造成（4月） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止</p> <p>②シェアサイクルを活用した市内周遊ツアー造成（10月実施予定）</p> <p>(3) 庁内検討会議：4回（7/6・7/14・7/19・7/29）</p>	<p>(1) 誘客促進フェスティバル支援：首都圏向け観光誘客キャンペーン「期間限定アンテナショップ」出展支援（10/25～11/7）</p> <p>土産品開発支援：日本遺産商品開発セミナー：3回【参加人数：（7/20）39人、（8/20）29名（12/7）40人】</p> <p>(2) 着地型（体験型）旅行商品造成</p> <p>①別所線復活記念日本遺産を巡る塩田平ツアー造成（4月） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止</p> <p>②シェアサイクルを活用した市内周遊ツアー（10/31：参加人数6名）</p> <p>(3) 庁内検討会議：6回（7/6・14・19・29・3/10・17）</p>
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和3年度 重点目標管理シート

重点目標	中心市街地の活性化と賑わいと活力ある商業の推進		部局名	商工観光部	優先順位	6位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街では、事業者の高齢化や売上減少等による廃業等に伴い、マンション建設が進み、移住者が居住することで、まちなかの定住人口が増加するという嬉しい反面、マンション住民にも対応した新たな商店街づくりを模索していかなければならない状況にあります。今後は、引き続き空き店舗数の減少に努めながら、賑わいや交流の創出のあるまちづくりを進めるために、ハナラボ海野やまちなかキャンパス等とも連携を強化するなかで、中心商店街の活性化を図っていく必要があります。 ・コロナウィルス感染症の影響が長引く中で、中心商店街への来客が減少していることから、引き続き商工団体等と連携し、事業者の事業継続を支援していく必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを活用した顧客関係性強化のための積極的な情報発信やシェアサイクル等の新たな取り組みにより、市民や観光客等の回遊性を高め、まちのにぎわいの形成や売り上げ増につなげます。 ・また、空き店舗活用事業の実施により、空き店舗数の減少を図るとともに、まちなかにおいて開業できる人材を育て創業を促すとともに、商店街全体の活性化と稼げるまちづくりを推進します。 		該当するSDGsの目標	   		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○商工団体及び民間事業者と連携したデジタルコミュニティ通貨実証実験の推進 (1) 商業活性化につなげるまちのコイン上田「もん」の推進 (2) 商業活性化につなげる多様な主体と連携体制の構築	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) ユーザー登録数：2,500人 スポット登録数：150件 (2) 企業、学生及び団体等との連携：随時	(1) ユーザー登録数：1,963人 スポット登録数：115件 (2) 大学生(2件)、高校生(2件)の研究テーマとして連携、市民サポーターグループが誕生	(1) ユーザー登録数：2,316人 スポット登録数：124件 (2) 大学生(2件)、高校生(2件)の活動との連携 市民サポーターのグループが結成による緩やかな連携体制の構築		
② ○商店街の回遊性の向上 (1) 会議所・商店街との意見交換等 (2) 諸団体と連携したシェアサイクル実証実験の実施	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 商店会連合会中活部会等会議5回 (2) 利用人数500人	(1) 商店会連合会中活部会、まちづくり上田取締役会等にオブザーブ出席 5回 (2) 利用人数531人	(1) 商店会連合会中活部会、まちづくり上田取締役会等に出席(8回) (2) 実証実験参加人数1,114人		
③ ○空き店舗の利活用 (1) 商工会議所、長野県宅地建物取引業協会 上田支部と連携した空き店舗バンク制度の充実 (2) 空き店舗見学会 (3) 歩行者通行量、空き店舗数の継続的把握	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 宅建協会との情報交換：年6回 (2) 見学会：1回以上 (3) 歩行者通行料調査：年2回 空き店舗数の把握：随時	(1) 情報交換：3回 (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、上半期は延期（10月以降実施予定） (3) 通行量調査：10月、3月に実施予定 空き店舗数の把握（調査・件数）：1回・27件（10月）	(1) 情報交換：6回 (2) 見学会実施：0回（空き店舗数の減少のため） (3) 通行量調査：10月、3月に実施 空き店舗数の把握（調査・件数）：2回・27件（3月）		
④ ○商店街等と連携したまちなか交流事業の促進 (1) 情報ライブラリーと連携したイベントの開催 (2) 池波正太郎真田太平記館の魅力発信、企画展・文学散歩等の実施	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 1回 (2) 企画展：3回、サロントーク3回、文学散歩：1回 SNS情報発信：随時	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、上半期は延期（10月以降実施予定） (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、企画展：3回、文学散歩：1回に変更 ・第1回 企画展 3/20～6/20 入館者数 2,082人 ・サロントーク 5/29 参加者44人 ・第2回 企画展 7/17～11/23 現在開催中 ・ツイッターによる情報発信を随時実施	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し中止 (2) 企画展：3回、文学散歩・サロントーク：各1回開催 ・第1回 企画展 3/20～6/20 入館者数 2,082人 ・第2回 企画展 7/17～11/23 入館者数 3,196人 ・第3回 企画展 12/18～R4. 2/27 入館者数 1,118人 ・サロントーク 5/29 参加者44人、1/24中止 ・文学散歩 10/27 参加者25人 ・ツイッターによる情報発信を随時実施		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			